

平成 28 年度 アメリカ春季英語研修 報告書

都市教養学部 経営学系 経営学コース 3 年

松島かな

1. はじめに

今回、私は春休みを利用し、1 ヶ月のアメリカ英語研修に参加しました。このプログラムでは、UCSD（カリフォルニア大学サンディエゴ校）付属の語学学校である、UCSD Extension に通い、英語の授業を受けます。授業は基本半日で、午後と週末は自由行動です。

2. 学校について

語学学校は、英語を母語としない生徒を対象としているため、基本的にアジア・中東の生徒が多いです。私たちが訪れた 2 月から 3 月にかけては、日本人と中国人がほとんどでした。受講するクラスは、初日に受けたテストによって振り分けられるため、実力相応のレベルになるのではないかと思います。

私は文法・語法中心と、会話中心の授業を受けました。特に印象に残っているのは会話中心の授業です。週に 2 回 UCSD の学生が conversation leader としてクラスに来てくださり、グループになって与えられたテーマに沿って英語で議論します。現地の学生と直に話せる機会は少なかったため、積極的に発言するように心がけ、生きた英語の表現を学ぶようにしていました。そこで感じたのは、自己主張の違いです。意見を求められた際、私も含め日本人は曖昧に話そうとするのでうまく通じていないことが多く、英語力以前にもっと普段から物事に対しての問題意識や自分の意見を持つべきだなと思いました。また、授業で仲良くなった conversation leader にはパーティーに連れて行ってもらったり、一緒に出かけたりして大変有意義な時間を過ごすことができました。

また、私はこの研修で会話能力を主に伸ばしたいと思っていたので、放課後に行われている現地学生と留学生の交流の場である conversation table に参加していました。そこでは韓国やメキシコからの留学生と、UCSD の学生と一緒にお互いの国の文化について話し合いました。自国の文化や習慣を英語で説明するのはなかなか難しく、上手く伝わらずに悔しい思いをすることが何度もありました。

3. アクティビティーについて

平日の午後や週末は自由行動であったため、たくさん観光もしました。サンディエゴは東京ほど公共交通機関が充実していないため、移動は Uber というシェアライドサービスを使うことが多かったです。ドライバーさんとのコミュニケーションも楽しく、行き先周辺でのおすすめレストランや観光地をたくさん教えてくれました。やはり地元の人に聞くのが一番多くの情報を得られるので、積極的に話しかけるのが重要だと思います。カリフォルニア州はアジア人が多いこともあって、アジアのレストランはたくさんあるし、メキシコにも近いのでかなり多くの種類の食文化を体験できると思います。観光とはいえ、案外学ぶことも多くあり、私はよく日本との違いを見つけて楽しんでいました。

4. 最後に

この研修に参加するにあたり、一番大事なことは自分の目標や目的を見失わないことだと思います。思ったより自由時間が多く、その過ごし方は本人の自由ではあるのですが、せっかく英語が主言語の国で勉強するならその環境を最大限に活用すべきだし、自分からどんどん行動をおこしていくべきだと思います。渡航前に文法や会話表現などのインプットの学習を終わらせ、現地ではアウトプットの場として活用することができれば 1 ヶ月という短期間で成果を出すことができると思います。私はこれを中途半端に行ったため、反省する点が多かったです。ですが、得たものも多く、新たな目標も持つことができました。

これから応募する皆さんも後悔のないように事前準備をしっかりと行い、実りの多い研修にしてほしいと思います！